

日本環境教育学会主催 / 一般公開

# 田んぼ国際環境教育会議2009



アジア 6 カ国からのゲストを迎え、日本・アジアの田んぼの「環境教育」「生物多様性」「自然観」「持続可能な社会の形成」を紹介・議論し、「アジア型環境教育モデル」を提案する 3 年目（最終年）の国際会議です。

日時： 2009 年 10 月 31 日（土）13:00～11 月 1 日（日）16:30

会場： 山梨県清里高原 清泉寮 新館

〒407 - 0301 山梨県北杜市高根町清里 3545

東京・名古屋から電車・車で 3 時間 最寄駅

最寄り駅 JR 中央線 小淵沢駅經由小海線清里駅

定員： 150 名

参加対象者： 一般市民、農家、企業、NGO/NPO、教育機関の方々

参加費： 22,000～25,000 円(参加費・保険料・1泊3食付)

主催： 日本環境教育学会

共催： (社)農村環境整備センター、(財)キープ協会、NPO法人田んぼ

後援： (申請中) 環境省、農林水産省、(社)日本経済団体連合会自然保護協議会、世界銀行、

(財)世界自然保護基金ジャパン、(社)日本環境教育フォーラム、

(財)日本自然保護協会、(社)農山漁村文化協会、山梨県北杜市、

生物多様性農業支援センター

協賛： (株)アレフ、キャノン(株)、積水化学工業(株)、(株)損害保険ジャパン、大成建設(株)

宝酒造(株)、三菱電機(株)、ヤンマー農機販売(株)

主催者連絡先： 実行委員長 湊秋作(財団法人キープ協会 キープやまねミュージアム)

住所： 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545

TEL/FAX： 0551-48-3577

E-mail： worldtanbo@keep.or.jp

# 本会議のビジョン

日本を含むモンsoonアジアにおいて、田んぼは、数千年にわたり、人々の命を支える重要な食糧である『米』をつくり続けてきた場です。わたしたちは、その『田んぼ』が、環境教育の役割を果たすこと、多様な生きものたちの生息場所を提供してきたこと、日本とモンsoonアジア特有の文化や社会を醸成し、人々の精神性を育ててきたこと、そして、持続可能な社会の象徴の一つであることに注目し、以下の1)～4)をビジョンとして、「田んぼ国際環境教育会議」を開催します。

- 1) 田んぼが、優れた環境教育の場であることを示し、田んぼを活用した環境教育の社会化を図る。また、そのことをもって、環境教育の普及に貢献する。
- 2) 田んぼが、日本を含むモンsoonアジアの生物多様性保全の観点からも価値ある場であることを示し、田んぼにおける生物多様性やそれを育む取り組みを環境教育にどう活かすかを提案する。
- 3) 日本的を含むモンsoonアジア的自然観を整理し、環境教育にどう活かすかを提案する。
- 4) 田んぼを中心とした持続可能な社会形成のためのアジア環境教育モデルを提案する。

## プログラム内容 (発表者は予定で、変更もあります)

<p>10月31日(土)</p> <p>13:00～13:30 開会式</p> <p>13:30～14:30 基調講演者 安田喜恵(国際日本文化研究センター)</p> <p>14:40～17:30 全体会 第一部「各国の田んぼと田んぼの環境教育の状況」 第二部「アジアでの環境教育の内容・手法・役割の整理」 進行: 加納麻紀子(農村環境整備センター) 谷口雅保(積水化学) 湊秋作(財団法人キープ協会)</p> <p>【発表者】 イ・インスク(韓国 Ram-neto 共同代表) ジョセフ・マーガフ(中国雲南省 TianZi 生物多様性センター) サンサニー・チャオウイー(タイ マヒドール大学) サルマ・ニョオン(インドネシア) ソムキット(ラオス) 日本の発表者</p> <p>17:45～18:30 ポスターセッション</p> <p>19:00～20:30 夕食を兼ねた懇親会</p> <p>20:30～21:00 お神楽 以降自由交流会</p>	<p>11月1日(日)</p> <p>9:00～12:00 分科会 A 「田んぼの生物多様性を育む取り組みを環境教育にどう活かすか」 進行: 岩淵成紀(NPO 田んぼ)</p> <p>【発表者】 ジョセフ・マーガフ(中国雲南省 TianZi 生物多様性センター) イ・インスク(韓国 Ram-neto 共同代表) 日鷹一雅(愛媛大学) 日本の農家</p> <p>分科会 B 「日本の・アジア的自然観を整理し、環境教育にどう活かすか」 進行: 湊秋作(財団法人キープ協会)</p> <p>【発表者】 園田稔(秩父神社) サルマ・ニョオン(インドネシア) サンサニー・チャオウイー(タイ マヒドール大学)</p> <p>分科会 C 「田んぼを中心とした持続可能な社会形成のためのアジア環境教育モデル」 進行: 小堀洋美(東京都市大学・旧武蔵工業大学)</p> <p>【発表者】 飯島博(NPO 法人 アサザ基金) 呉地正行(日本雁を保護する会) 芦沢壮一((株)損害保険ジャパン) 宮川修一(岐阜大学) ソムキット(ラオス)</p> <p>13:15～15:30 「清里・アジア田んぼ宣言」の作成と発表</p> <p>15:30～16:30 さよならパーティー &amp; 閉会式</p>
--	--



### ● お申込書 ●

【送付先】 FAX : 0551-48-3577 メール : [worltdtanbo@keep.or.jp](mailto:worltdtanbo@keep.or.jp) お申込は学会 HP (表面に記載) が便利です

名前 <small>(ふりがな)</small>	性別	住所 〒
電話番号	FAX 番号	E メール
<p>部屋の希望 ( をおつけください)。下記の代金は参加費 8000 円と食事代・パーティ代・部屋代を含んだものです。部屋のタイプによって値段が変わります。Bはツインユースのお部屋となっています。</p> <p>A. スタンダード相部屋(25,000 円) B. エコノミーシングル(23,500 円) C. エコノミー相部屋(22,000 円)</p>		
<p>ポスターセッションの希望 (ポスタースペース: 縦 110cm・横 110cm、パネル前に長机設置)</p> <p>A. 希望する B. 希望しない</p>		